

令和 6 年度 にいがた市民大学講座プログラム（案）

「なぜ独裁体制は続くのか？」

1 趣 旨

独裁体制はなぜ続いているのでしょうか。2022 年時点で世界の 89 カ国が独裁（権威主義）体制とみなされ、世界の人口の 72%がそこに暮らしています。独裁体制はいまだに多くの人びとにかかわる問題です。現在の独裁体制は一昔前とは異なり、抑圧的手段だけでなく議会や選挙などの民主的な政治制度を巧みに活用しています。一見すると民主主義体制と思われる独裁体制も少なくありません。本講座では独裁者側の論理を踏まえ、独裁体制が維持される仕組みを理論と事例（中国、ベトナム、ラオス、カンボジア）から学びます。

2 曜日・時間

金曜日 午後 7 時 ～ 午後 9 時

3 実施方法

ハイブリッド方式（見逃し配信あり）

4 講座コーディネーター

アジア経済研究所動向分析研究グループ長 山田 紀彦

5 主な受講対象者（ターゲット）

政治や国際情勢（とくにアジア）に関心を持つ一般の方々

6 プログラム・講師

回	日時	テーマ（25 字以内）	内 容（60 字以内）	講 師
1		なぜ独裁体制は維持されているのか？	本講座の初回では、独裁体制が増加する現状を理解するとともに、独裁者の論理と体制が持続する仕組みを理論的に学びます。	アジア経済研究所地域研究センター動向分析研究グループ長 山田 紀彦
2		中国：習近平体制の強化（仮）		アジア経済研究所副主任 研究員 内藤 寛子
3		ラオス：「民主的」政治改革と抑圧による体制維持（仮）		アジア経済研究所地域研究センター動向分析研究グループ長 山田 紀彦
4		カンボジア：民主主義を装う独裁（仮）		新潟国際情報大学国際学部 准教授 山田 裕史
5		ベトナム		アジア経済研究所新領域研究センターガバナンス研究グループ長 石塚 二葉
6		改めて独裁体制を考える	本講座の最後では、これまで学んできた理論と事例から、改めて現在の独裁体制について考えていきます。	アジア経済研究所地域研究センター動向分析研究グループ長 山田 紀彦